

## 山梨赤十字病院での演奏会

昨年からはまった山梨赤十字病院での演奏会が、本年も12月17日17時から病院食堂において開催されました。この催しは、実習や病気・ケガの際などにお世話になっている山梨赤十字病院へお礼の気持ちを込めて、MAS、管弦楽、グリーンクラブの3団体の学生ボランティアにより、地域交流の一環として実施しています。今年は約60名の学生の参加がありましたが、各クラブとも練習の成果を発揮して1年生だけとは思えない演奏を披露。患者さんはもちろんご家族、病院スタッフなど、ご来場いただいた80名ほどの方から拍手を頂きました。今年は新型インフルエンザの影響により山梨赤十字病院での活動となりましたが、来年度もクラブの協力を得て、他病院や福祉施設へも活動の場をひろげていきたいと考えています。

地域交流委員会：堀川浩之



MASによる演奏



グリーンクラブによる合唱



管弦楽による演奏

## 第5回 クラブ活動紹介 馬術部

医学部5年 桑原直太君

馬術部の活動拠点である馬場は一年生のキャンパス所在地である富士吉田にあります。そのため平日は一年生が馬の管理をし、週末になると上級生が合流し、共に活動します。

平日は朝の馬房掃除と飼い付け(餌やり)から始まります。これは一年生部員が当番を組んで担当します。それから授業を受け、夕方の馬房掃除をおこないつつ各自の練習に励みます。練習は部のコーチに見ていただいたり、自分たちで見合ったりします。最後に飼い付けをして一日の活動は終わりとなります。活動は毎日、終日おこなわれます。週末には上級生も合流します。年5回、夏期などの長期休暇に合宿が組まれます。合宿は本学でおこなったり、乗馬クラブのプ口の方の指導を受けに向いたりします。

我が部の最大の特徴は生き物を扱う点であり、責任感を伴う一方、医療人として求められる資質を磨くことができます。

是非、我々の活動を見に馬場に来てください!



## 広報誌『白樺・百合』 掲載写真公募のお知らせ

『白樺・百合』第9号以降、第1面に掲載する富士山の写真を募集いたします。四季折々、様々な表情で私たちを楽しませてくれる富士山を、皆さんの技術と自慢のカメラで撮影し、下記までお送りください。なお、ご投稿いただく写真はデータ(デジタル)に限らせていただきます。

※投稿いただいたデータは、お返しできません。

※投稿いただいたデータは、『白樺・百合』掲載以外の目的には使用いたしません。

連絡先：0555-22-4403 (教務課)

E-mail：ykyoumu@ofc.showa-u.ac.jp

## 編集後記

二十四節気のひとつである大寒を迎え、いよいよ冬本番の季節となってまいりました。『白樺・百合』も発刊から約2年が経ち、第8号までこぎつけることができました。今回のメイン記事は、昨年12月におこなわれた学生主体の一大イベントである“クリスマスパーティー”です。ご覧くださった皆さんに熱気あふれる様子が伝わることを願っております。

次号の発刊予定は4月。ご意見・ご感想など上記連絡先までお寄せくださいますと幸いです。今後とも『白樺・百合』をよろしく願っています。

文責：編集委員 高田中成

# 白樺・百合

昭和大学だより  
第8号 2010.1.18 発行

発行責任者 富士吉田教育部長 片桐 敬  
編集責任者 富士吉田教育部教授 倉田 知光  
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562  
TEL 0555-22-4403



人学支援課 川路康之撮影

## 全寮制の歩みと学生支援

昭和大学富士吉田教育部 事務長 井上 敏勝



富士吉田寮は昭和40年度より医学部の男子学生約90名が入寮しスタートしました。翌年に薬学部の男子学生が入寮し、更に、昭和42年には医学部15名、薬学部95名の女子学生が共に入寮することになり329名の初年次全寮制教育がスタートしました。昭和52年に歯学部の1期生が入学することになり、医学部、歯学部、薬学部の三学部が揃っての入寮となりました。今までに数多くの医・歯・薬の学生諸君が寮生活のもとで学び、遊び、お互いに切磋琢磨しながら友情を深め立派な医療人として成長し、社会に巣立っております。平成18年より保健医療学部の学生が入寮し、四学部全ての学生が霊峰富士の麓で大学生としての第一歩を全寮制で過ごすこととなります。

本学の全寮制教育は、異なった四学部の学生が寮で同室となり寝食を共にし、お互いに、人の気持ちが理解できる心、我慢する心、助け合う心など人間生活に必要な多くの事柄が自然に培われると確信しています。全寮制教育は昭和大学が行っている教育システムの中で、最も特色あるものと位置づけています。入寮した学生さんが全寮生活をエンジョイできるようにあらゆる支援を行っています。

この全寮制教育を支えるため、昔も今も変わらずに教員、寮監、給食係、ボイラー係、事務職員等が学生の支援を行っています。教員は指導担任として約16名の学生の教育をサポートします。入学した学生の学習に対する不安、学習方法について随時相談に応じてくれます。寮監は寮における生活面、健康面をサポートしています。給食係は在寮期間中の朝・昼・夕食の3食を提供しています。ボイラー係は給湯、暖房等の生活に関する設備の維持管理に努めています。また、事務職員はこれらの学生支援が円滑に行われるよう教育に関する手続、生活環境を快適に維持するための建物等の管理に努め、教職員全てが自分の役割を果たし、学生が快適に生活できるよう支援しています。

昭和大学の学生となった一人ひとりが初年次教育を終了し、専門科目を学ぶための知識を十分に修得して、将来医療人に必要な真の人間性を養って富士吉田寮を巣立ってくれることを心より願っております。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。



# クリスマスパーティー開催!

暦が師走にかわる時期を迎えると、富士吉田は急速に冷え込みが厳しくなります。夕陽に息が白く映えるころ、後期の最大イベント「クリスマスパーティー」通称「クリバ」が今年もまた盛大におこなわれました。前夜祭を含む二日間、学生たちはこの日のために準備を重ねてきた各種の催しの成功に全力を傾けます。

メイン会場は第一講堂。管弦楽団の演奏会あり「のど自慢大会」あり演劇ありと実に盛りだくさん。寮生活ならではのフロア対抗のイベントもプログラムを飾ります。生協二階はライブハウスに一変。バンドやダンス、漫才にいたるまで、学生たちの秘めたる異能の数々に息をのむばかり。学食もこのときばかりはキャンドルの灯るムード豊かな空間に様変わりします。夕食は豪華な特別メニュー。ローストチキンをはじめとするクリスマス気分満点のディッシュ。学生たちによるジャズバンドMASの生演奏をBGMに贅沢なディナー気分を味わうことができます。

フィナーレに上映されるのは、富士吉田キャンパスでの日々を刻んだイメージフォト。画面にあらわれては消える思い出の数々にあたたまった心のほてりが冷めぬ間に、グラウンドでは大詰めの花火大会が冬の夜空を彩ります。凍てつく夜気を忘れさせる打ち上げ花火の輝きが学生ひとりひとりの胸にしっかりと刻まれ、寮生活最後の一大イベントは幕をおろしました。

## 富士吉田市立地域交流センター交流企画

クリスマスパーティーの企画のひとつとして、富士吉田市立地域交流センターの方々が運営する「ベーカリーともだち」との地域交流事業も行いました。今回の企画は、9月に実施された早期体験実習でお世話になった施設の方々と協力して行った初めての試みです。6名の通所者さん、3名の先生ならびに実習の際にお世話になった学生3名が中心となり、昭和大学生協の後援をいただいて、焼き立てのパンやクッキー、パウンドケーキなどを販売しました。

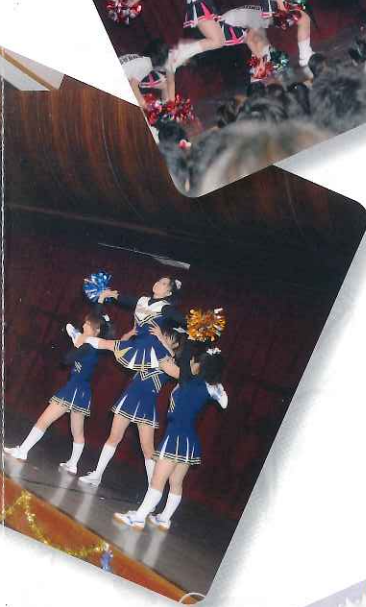
学生たちと施設の方々と交流を通じて、昭和大学と地域の親交を深めることを目的としたこの企画。早朝には山ほどあった品々も飛ぶように消えては学生たちの空腹を満たし、予定より1時間以上も早く完売。他のイベントに参加していたために買うことができなかった学生たちから「残念!」という声がいくつも飛び交うほど盛況で、施設の方々、学生共に今回のイベントの成功を心から喜びあいました。企画終了後、帰路につく学生たちと施設の方々とは別れを惜しんで抱きしめあっている姿が深く心に残りました。



1号館入口の装飾



表紙制作者:井上 望



裏表紙制作者:景山 侑紀



さまざまな催し物がありました



花火に学生達も大満足



沢山のサンタさんが夕食をサポートしてくれました



夕食はMASや管弦楽によるBGM付きでした



夕食のメニュー(ケーキの種類を選べます)



パーティーを花火で華やかに締め括りました